

住みやすく 魅力と活気あふれる 愛のまち

湯梨浜町人権教育推進協議会

人推協だより

令和5年2月1日発行

～あいさつで つながる気持ち 広がる笑顔～



湯梨浜町人権教育推進協議会は、地域、企業、学校、行政などで組織され、次の基本方針を定めて町民の人権教育・啓発の推進に取り組んでいます。

- (1) 部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消をめざすため、町民にさまざまな人権問題を学習する機会を提供し、人権尊重のまちづくりを推進します。
- (2) 町民一人一人が人権尊重のまちづくりの担い手であることを自覚し、身のまわりの人権問題を主体的に解決する力を育てます。
- (3) 行政・学校・家庭・職場・地域社会が連携を図り、一体となって差別問題の解決に向けて行動します。

Q. 湯梨浜町人権教育推進協議会は、人権教育・啓発講演会を年に何回、実施しているかご存知ですか？

A. 2回

B. 3回

C. 5回

答えは、C. 5回 実施しています。

《令和4年度 湯梨浜町人権教育推進協議会 人権教育・啓発事業》

- (1) **町民のつどい** 日時: 令和4年6月26日(日) 13:30～16:00
会場: ハワイアロハホール テーマ: 「高齢者の人権」
☆映画「ケアニン」上映、シニアコートゆりはま代表 平田すがこさんにご講演いただきました。
- (2) **第1回ゆりはま人権セミナー** 日時: 令和4年7月13日(水) 19:00～20:15
会場: ハワイアロハホール テーマ: 「同和問題」
☆鳥取県部落史研究会 川口寿弘さんに「全国水平社創立の頃の県内の活動」についてご講演いただきました。
- (3) **第2回ゆりはま人権セミナー** 日時: 令和4年9月14日(水) 19:00～20:15
会場: ハワイアロハホール テーマ: 「外国人の人権」
☆鳥取大学 御館 久里恵さんに「やさしい日本語」についてご講演いただきました。
- (4) **人権教育推進大会** 日時: 令和4年10月16日(日) 13:30～15:10
会場: ハワイアロハホール テーマ: 「人権尊重のまちづくり」
☆鳥取県人権教育アドバイザー 佐藤淳子さんにご講演いただきました。
- (5) **第3回ゆりはま人権セミナー** 日時: 令和4年11月9日(水) 19:00～20:15
会場: ハワイアロハホール
テーマ: 「拉致問題と人権」
☆拉致問題について説明を聞いた後、DVDを視聴し、学習していただきました。



※くわしい活動報告は、次ページから紹介いたします。

湯梨浜町人権教育推進協議会では、来年度も年5回 人権教育・啓発講演会を開催いたします。町民の皆様のご参加をお待ちしております。

町民のつどい

演 題 「高齢者、在宅療養者の皆様から教えていただいたこと」
講 師 平田 すがこさん(シニアコートゆりはま・訪問看護ステーションゆりはま代表)

映画「ケアニン～あなたでよかった～」の上映後、地域の高齢者向けサービスや施設、訪問看護について紹介され、ゴミ捨てや買い物、事務手続き等、実際にかかわっておられる高齢者世帯の課題を話されました。誰もが住みやすい地域として

- ★希望する在宅医療が地域差なく受けられること
- ★24時間稼働できる、緊急対応可能なヘルプステーションがあること
- ★必要な時に迅速に利用できるショートステイがあること

など、具体的に提示されました。



□参加者数 131人(オンライン34人) アンケート満足度 97.4%

町人権教育推進大会

人権標語の表彰、中学生の意見発表、講演会を行いました。

(1) 人権標語の表彰

人権標語では、町内小・中学校等を通じて募集したところ、514点のご応募をいただきました。その中で、最優秀賞・優秀賞を受賞された方々の作品をご紹介します。

人権標語

最優秀賞 あいさつで つながる思い 広がる笑顔

湯梨浜中学校 1年 柿山 紗和さん

優 秀 賞 認め合い みんなと進もう 明るい未来

湯梨浜中学校 1年 瀬尾 愛流留さん

ひと呼吸 相手の気持ち 考えて

湯梨浜中学校 2年 岩室 悠斗さん

スマホより 家族の会話 大切に

湯梨浜中学校 2年 坂本 拓未さん

認め合おう 自分の普通を おしつけない

湯梨浜中学校 2年 土井 結月さん

支え合い つながっていこう 笑顔の輪

湯梨浜中学校 3年 富山 海音さん



最優秀賞作品は、湯梨浜町の様々な啓発活動において、活用させていただきます。

(2) 中学生の意見発表

中学生の意見発表では、湯梨浜中学校3年 山崎 詩子さんが「助け合える社会」と題して、ご自身の体験から人権について考えたことを発表してくださいました。参加者からは、「中学生による意見発表がとても良く、刺激を受けました」と感想をいただきました。

(3) 講演会

演 題 「人権尊重のまちづくり～住みやすいまちをつくるために～」

講 師 佐藤 淳子さん(鳥取県人権教育アドバイザー)



講演会では、特権（ある社会的集団・多数派（マジョリティー）に属していることで労なくして得る優位性）という新しい切り口で人権尊重のまちをめざすために、一人一人にできることは、自分を知り、地域の人を知り、コミュニケーションをとることが大切な事だと話されました。そして、特権を持つとは具体的にどういうことなのか、模擬体験しました。参加者からは、「特権を持つ人、持たない人＝もっと特別な方のことを言うのかと思いました、不自由なく過ごせている点では、自分も特権を持っていることに気づくことができました」と感想をいただきました。

□参加者数104人（オンライン7人） アンケート満足度 86.8%



ゆりはま人権セミナー①

演題 「全国水平社創立の頃～鳥取県の諸活動～」
講師 川口 寿弘さん（鳥取県部落史研究会）

被差別部落の人々が差別と貧困から解放を求めて結成した団体が「全国水平社」であり、この「全国水平社」設立から100年にあたり、「全国水平社」と鳥取県の部落解放運動について説明をされ、おわりに「全国水平社100年の節目において、部落差別解消のための活動により、何を変えることができたのか、変えることができなかったものは何なのか検証し、部落問題の現在（いま）を考える機会にしたい」と話されました。

□参加者数 92人 アンケート満足度 93.2%

ゆりはま人権セミナー②

演題 「外国人とのコミュニケーション～やさしい日本語の活用～」
講師 御館 久里恵さん（鳥取大学教育支援・国際交流推進機構准教授）

「やさしい日本語」という言葉を初めて聞かれた人が多く、参加者からは、「外国人の立場になって考えることがなかったので、ハッと気づかされました」「自分では、あたりまえと思っていたことが相手にとっては伝わりにくいこともあるのだと思いました」「外国人に対するコミュニケーションのとり方を考えることをとおして、どんな相手の人にも話し方を分かりやすくすることや相手のことを考えて接していく必要があるなあと感じました。今回のセミナーに参加してよかったです」などの感想をいただきました。

□参加者数 180人（オンライン参加4人） アンケート満足度 91%

ゆりはま人権セミナー③

演題 「拉致問題と人権」
講師 杉野 浩之さん（鳥取県総務部人権局人権・同和対策課）

「拉致 私たちは何故、気付かなかったのか？」「みんなで知って考えよう鳥取県の拉致問題」を視聴しました。参加者からは、「自分の事と考えなければならぬ」「自分だったらどうするのかということを考えていくことが大切。無関心でなく関心をもたねばと思う」などの感想をいただきました。

□参加者数 86人 アンケート満足度 100%

障がい者スポーツ体験教室

ポッチャ体験(参加者15名)

開催日/令和4年12月10日(土)
会場/浜児童館

「ポッチャ」は、年齢・性別・経験に関係なくだれでも楽しむことができるスポーツです。今回は、初級障がい者スポーツ指導員 田中 啓さんに教えていただきながら、初めてこの競技をやってみるといふ人が、チーム分けをして、一緒にゲームを楽しみました。



3町(湯梨浜町・北栄町・琴浦町)連携人権啓発番組の視聴について～ご案内～

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域で人権学習を行う機会が減少しております。そこで、湯梨浜町、北栄町、琴浦町の3町で、人権啓発番組を企画・制作しました。多くの町民の方に番組をご覧いただき、家庭や職場、地域で今一度、人権について考える機会としていただけますと幸いです。ぜひご視聴ください。

◆テーマ

「全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集から考えよう！」
～中学生が自分の体験などから人権について考えている内容にふれ、自分自身を振り返り、何ができるかを考えよう～

◆内容

- ・みんなのヒーロー（第40回全国中学生人権作文コンテスト入賞作文）
- ・共に生きるということ（第33回全国中学生人権作文コンテスト入賞作文）
- ・審査員長 落合恵子氏メッセージ

◆視聴方法

- ・湯梨浜町ホームページからご覧いただけます。
- ※こちらのQRコードからアクセスできます。



〈編集後記〉

- ◇「人推協だより」をお読みいただき、ありがとうございました。
- ◇今年度も様々な人権課題を知り、学ぶ日々でした。
- ◇「差別を自分のこととして考える」とは、どういうことか。
- ◇私は「自分がその人の立場になって考えること」だと思っていました。しかし、学ぶ中で「自分は差別をしていないか」と自分自身をふりかえることも、「自分のこととして考えること」だと知りました。今までの無意識な自分の傲慢さに気がついたとき、涙が出ました。
- ◇私は、差別をする人間ではないのだと思い込んでいた、自分の不遜さを自覚しました。
- ◇「愛の反対は憎しみではない。無関心だ」とマザー・テレサは言いました。人権課題について、まずは、知り、正しく学び、そして考えることがはじまりだと思います。
- ◇末尾になりましたが、今年度、人権啓発事業にご協力・ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



発行・編集 湯梨浜町人権教育推進協議会（事務局：湯梨浜町教育委員会生涯学習・人権推進課内）
TEL 0858-35-5369 FAX 0858-35-5387
電子メール yshogai@yurihama.jp